

陳 情 書

西川口駅西口及び東口に喫煙コーナーの
設置要望について

川口市長

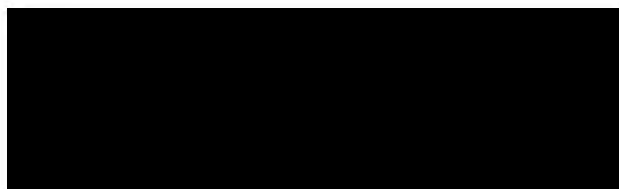
岡村 幸四郎 様

平成 21 年 月 日

陳情者

西川口クリーン作戦プロジェクト

代表 大熊 隆司



要望趣旨

西川口駅周辺地区では、違法性風俗店の存在や悪質な客引きや違法駐車、放置自転車、たばこのポイ捨て等と街の安全・安心、環境美化の面で様々な問題を抱えておりました。

このような状況から警察による違法性風俗店の取締り等が強化され、かつてNK流で全国にその名をとどろかせた違法性風俗店は一掃されると共に悪質な客引きもその姿を潜めるようになりました。

その一方で一部地域では、ビルの空き室が目立ち、暗がりが増え、賑わいがなくなる等、その影響が出ていることから、このような状況を打開する為には、市民総ぐるみで問題に取り組み、それぞれが知恵を出し、実際に行動していくことが大変重要であります。

警察の取締り等により、西川口駅周辺は健全な地域に変わりつつあるものの、たばこ等のポイ捨てや放置自転車、歩道上に溢れたごみ等、地域のマイナス要因は、まだまだ残されているのが現状であります。

今後、西川口の定着したイメージを払拭し、まちを健全に活性化していくには、西川口駅を降りた人が、西川口は変わったと思えるように、地域のマイナス要因を市民、行政、事業者が出来ることから着実に解消していくことが大事であると考えます。

私達は、西川口駅周辺の再生が一日も早く進む為には何が出来るかを考えたところ、小さな違法行為を見逃すとやがては大きな犯罪が発生するという「割れ窓理論」を地道に実践することが街の治安維持に繋がると考えたのです。

そこで私が発起人となり、平成19年11月11日の日曜日から毎月第一日曜日の午前9時から約1時間、有志数十人と共にごみ拾いのボランティア活動を現在まで継続しているところであります。

1年2ヶ月の活動をしてみて気がついたことは、西川口駅周辺ではたばこの吸殻が非常に多く捨てられているのです。また、私達が活動中にも喫煙禁止区域にもかかわらず、駅前ではたばこを吸っている人をよく見かけ、たばこを吸った後に大抵の人達が路上にポイ捨てをしているのが現状なのです。モラルが低いと言えばそれまでなのですが、西川口駅東西口には喫煙スペースも灰皿もないというハード面の問題があるのです。

「喫煙禁止地域なのになぜ喫煙場所を設けるのか」等と言った意見もあると思いますが、設けることの利益が設けないことの利益を上回ると、この1年2ヶ月の活動で確信しております。

川口駅は東西口に喫煙場所が設けられているおかげで、たばこを吸う人は決められた場所でたばこを吸い、吸殻を捨てることができるおかげで秩序が守られております。JR駅構内も禁煙ですが、ホーム上に喫煙場所が設けられ、そこでたばこを吸っている分には誰も文句を言いません。おそらく喫煙場所がなければ、

線路内はたばこだらけになってしまうことでしょう。

是非、西川口駅東西口も、川口駅東西口と同様に喫煙場所を設けていただき、クリーンで秩序ある地域となることを願うばかりであります。

西川口駅周辺は、場所の確保が難しいということをして市行政でも当然把握されていることとは思いますが、今この時期にやらなければ西川口の再生が遠のくことから、市の関係各課の総力を尽くして、喫煙場所（伏流煙被害に配慮したボックス型）の早急な設置を、**クリーン作戦プロジェクト参加関係団体（者）の総意**として求める次第であります。

私たちも、西川口駅周辺の環境美化のため、クリーン作戦プロジェクト（ごみ拾いボランティア）を継続して実施しく所存です。どうぞよろしくお願い致します。

クリーン作戦プロジェクト参加関係団体（者）

